

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成25年9月12日 (2013.9.12)

【公表番号】特表2013-501532(P2013-501532A)

【公表日】平成25年1月17日 (2013.1.17)

【年通号数】公開・登録公報2013-003

【出願番号】特願2012-523338(P2012-523338)

【国際特許分類】

A 6 1 B 5/1486 (2006.01)

A 6 1 B 5/1473 (2006.01)

A 6 1 M 5/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/14 3 4 0

A 6 1 B 5/14 3 3 1

A 6 1 M 5/00 3 2 7

【手続補正書】

【提出日】平成25年7月30日 (2013.7.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 5】

センサ 1 1、1 2、1 3、1 4 は、連結線 1 1 a、1 2 a、1 3 a、1 4 a を通じて、エミッタデバイスを含んでなる制御デバイス 3 0 に連結され、その連結線によって、各センサは、センサデバイスが埋め込まれた人体の液体の測定状態に対応した信号を制御デバイス 3 0 に送る。制御デバイスは、測定した信号を外部の受信デバイスに伝送するために、アンテナ 3 3 に連結される。更に、制御デバイス 3 0 は、連結線 3 5 a を経由して、動力供給 2 0 に連結するスイッチ 3 5 に連結される。制御デバイス 3 0 は、動力供給 2 0 が 1 つのセンサ又はセンサ配列へ、及び / 又はそれぞれのカバー部材に隣接して存在するセンサのセンサ部品又はセンサ表面を覆うカバー部材に、カバー部材を除去するために能動的に連結されるように、スイッチ 3 5 に命令することができる。ハウジング 3 は、下部膜又は壁 3 a 及び上部膜又は壁 3 b を含み、両者は、X Y 面に沿って伸びている。更に、ハウジング 3 は、側面膜又は側壁 3 c、3 d を含み、両者は、Y Z 面に沿って伸びている。センサが機能する場合又は動力供給 2 0 に能動的に連結された場合、ハウジングの少なくとも 1 区画は、人体の体液の接触を測定することを可能にするように設計される。例えば、下部及び / 又は上部膜 3 a、3 b、センサ及び動力供給 2 0 は、1 つのセンサが動力供給に能動的に連結している場合、下部及び / 又は上部膜 3 a、3 b の少なくとも 1 区画が溶解、その結果それぞれのセンサは測定すべき液体と接触するようになる。このセンサは、制御デバイス 3 0 に信号を送り、制御デバイスは測定すべき液体の状態、例えば、グルコース濃度に対応する。